

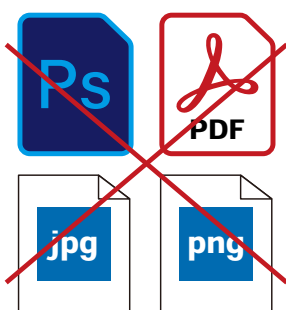
◆ 要確認！輪郭データ作成前のチェックポイント！【お客様が輪作データを作成する場合】

Check! 1 カットパスはAiデータで作成

カットパスはAiデータで作成してください。



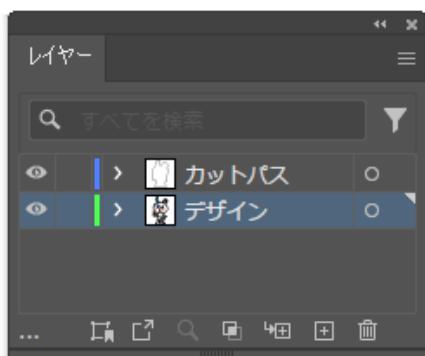
OK



NG

Check! 2 レイヤーは2つに分けます

レイヤーはカットパスとデザインの2つに分けてください



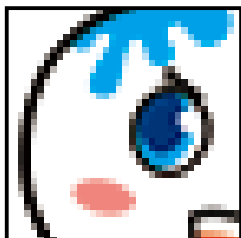
Check! 3 入稿データは原寸サイズで200~250dpi

解像度は原寸で200 ~ 250dpiを推奨しています

解像度250dpi



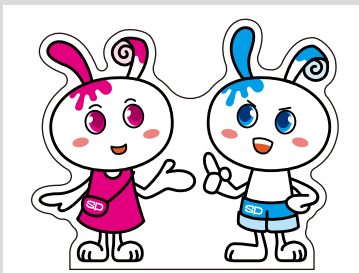
解像度72dpi



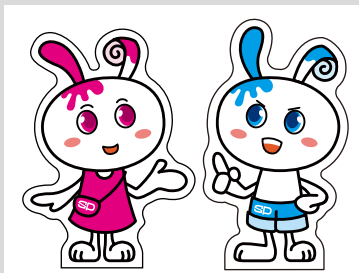
※元の画質が悪い場合、解像度だけ上げても画質は変わりません

Check! 4 パス1つにつき1個のパネル

カットパスが2つになる合はパネル2個分になります



パネル1個分のご注文で作れます



パネル2個分のご注文が必要です

Check! 5 カットパスは1本のパスで作成

カットパスは一本のパスをつなげてください



OK



NG



NG

パスを2本以上にしない

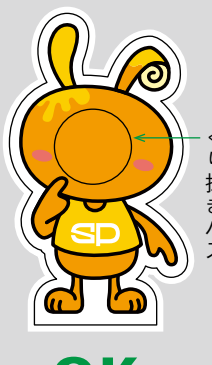
隙間を空けない

Check! 6 くり抜きの中も塗りが必要

くり抜きの中にもデザインや背景を配置してください
くり抜きするにはオプション購入が必要です



完成イメージ



OK

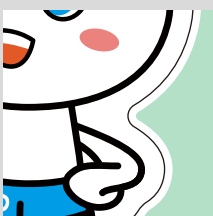


NG

くり抜きパス

Check! 7 鋭利な角はなめらかに

角はなめらかにした方がキレイに仕上がります

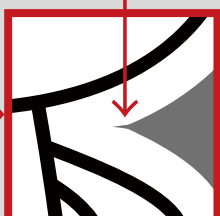


OK



NG

カッターの刃が食い込みます



Check! 8 塗り足しは3mmつけましょう

足しが足りないと紙の地の白が出てしまいます



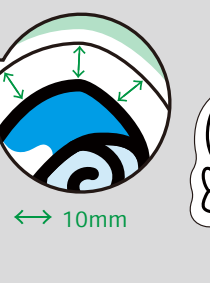
紙の地の白が出てしまいます

Check! 9 余白は10mm必要です

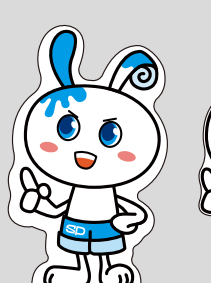
デザインの外側10mmにパスを配置してください



OK



↔ 10mm



余白が不均等



余白が狭すぎる

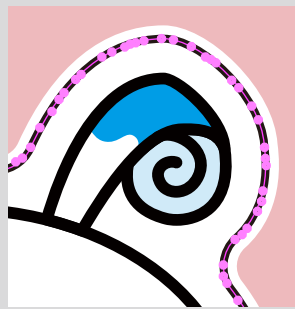
NG

Check! 10 アンカーポイントは少なく

形をあまり変えずにアンカーポイントを減らすには「パスの単純化」や「スムーズ」ツールが便利です。



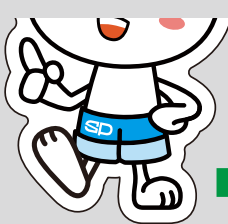
OK



NG

Check! 11 立たせるなら底面は平らに

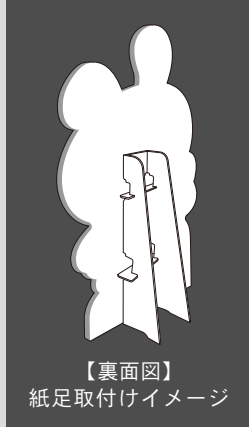
床に立てておく場合、底面は平らにしてください
底面が凸凹していると倒れてしまう場合がございます



底面がデコボコのまま立たせると不安定になります



底面は平らにし必要に応じて裾を広げます



【裏面図】紙足取付けイメージ

Check! 12 細すぎると折れてしまうかも

線の細い部分は余白を多めにとってください



折れにくい



折れやすい